

令和7年1月1日

立教188年

新春号

第628号

字(うに)仁

発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

立教188年 謹賀新年

1月26日 本部春季大祭、2月 一斉巡教



散歩道

エーアイさんに聞いてみた。

散歩道で見える景色は？ 春は桜が咲き誇

り・・・夏は青々とした木々が日陰を作り・・・

・秋は木々の葉が赤や黄色に色づき・・・

冬は雪が降ると・・・と答えてくれる。

エーアイさんに聞いてみた。

散歩道で気づくことは？ 散歩道では、様々

なことに気づくことができます。例えば、

自然の細やかな変化・・・音の世界・・・

人々の生活では・・・気持ちの変化・・・

散歩は日常の中で新しい発見や気づきをも

たらしてくれる素晴らしい時間です。心地

よい散歩を楽しんでください。

本年も散歩道をどうぞよろしくお願いいた

します。

天理教教組百四十年祭三年千日三年目仕

上げの年を勇んでつとめ切るには？

エーアイさんの答えは、精神の充実、体力

の維持。仲間との協力。心の準備。目標の

明確化。五つの大切なことを教えてくれま

す。

自分の歩みに生かしますすみたいものです。

新年のご挨拶

宇仁大教会長

神田美香子

明けましておめでとうございます。

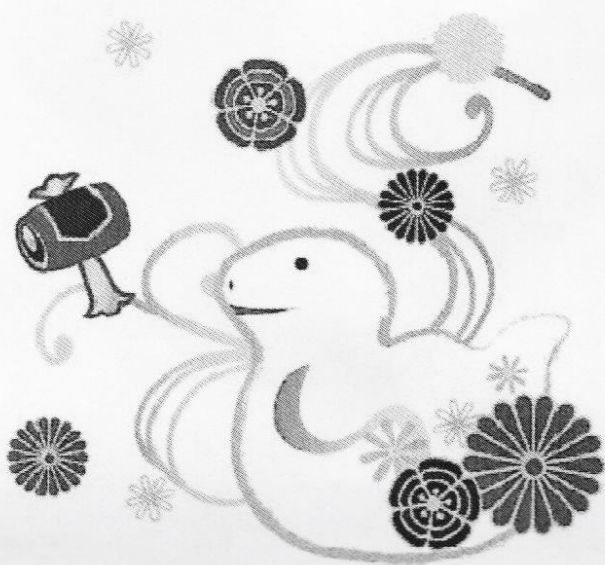
昨年は、元日に能登半島の大地震という姿をお見せいただきしました。何かできることはないのかと、支援物資を集め、青年会は現地へ行き、学生会は募金活動をして、たくさんの方のお心寄せを届けさせていただくことができ、誠にありがとうございました。九月には豪雨に見舞われ、復興には時間がかかる現状ではありますが、心放たずお力添え、ご尽力を賜りますようお願い致します。

『教祖百四十年祭』年祭活動三年千日の仕上げの年を迎えました。教祖の年祭は、成人への一里塚だとお聞かせいただいております。成人ということは、普段から心掛けていなければなりません。その中でも年祭を目指すこの期間は、一つの仕切りを定めて、意識して歩んでいかなければならない旬です。殊に今回の年祭活動は、大教

会で方針を決め、それぞれの教会で目標を定め、ようばく一人ひとりが自覚して実動するよう促されています。成人への足取りをしっかり進めて、一手一つに心定め、完遂という大きな目標に向かって、勇んで歩んでいきましょう。

真柱様は、昨年の秋季大祭のご挨拶で、「一生懸命取り組んで、年祭の当日、うれしい心で迎えることができるように、勇み心を奮い起こして通ってくださいるようにお願いしたい。」と締めくくられました。

どうか皆様方には、年祭までのこの一年、仕上げという言葉にふさわしい年になりますよう、教祖にお喜びいただけるようにおつとめくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



教祖百四十年祭

年祭活動の方針

教祖にお喜びいただける

心の成人につとめよう

目標

・おつとめとおさづけで

世界の治まりと

人のたすかりを願おう

・にをいがけひのきしんで

心を勇ませよう

・教祖のひながたを辿り

陽気ぐらしを味わおう

天理教宇仁大教会

年頭のごあいさつ

布教部長 笹倉雅浩

新年明けましておめでとうございませう。

旧年中は布教部の活動のうえにご理解とご尽力を賜り誠に有り難うございました。

いよいよ、教祖百四十年祭活動も仕上げる年を迎えました。昨年は、元旦早々能登半島を震源とする地震が発生し、身の引き締まる思いで年祭活動二年目が踏み出されました。

その後も、台風や大雨など自然災害は続き、国内にあっては、大掛かりな犯罪集団による詐欺事件、強盗事件が多発し、毎日のように報道される政治家の不正行為、又、止まらない物価の高騰による生活困窮者の増加など、先行きに暗い影を落とす事柄も多く、海外に目を転ずれば戦争や内乱などの紛争が拡大し、多くの尊い命が失われるなど、親神様の望まれる陽気ぐらしとは程遠い状況が続いています。

真柱様は、能登半島の地震や大雨の節に際しましては、「この度重なる節は、お道を信仰する私たちようぶくの心の成人の鈍さと、教祖年祭活動の歩み方が親神様の思召にまだまだ添えていないことに対しての厳しいお手引きである。残された年祭活動をようぶく一人ひとりがしっかり年祭への思いを持って奮起して動いてもらいたい」とお諭し下さいました。まさに、私たち教祖の道具衆であるようぶくのいをいかけ・おたすけが急務であります。

昨年おかえり講話をお勤め下さいました安藤恵介先生は講話の中で「年祭は出遅れても、手遅れはない」と話して下さい、私自身もその言葉に「まだ何とかなる」と安心した一人であります。しかし、その年祭活動も残り一年を切りました。もはや安心してはいる猶予はありません。

本年も布教部といたしましては、部内教会はじめ宇仁の理に繋がる全体的ようぶくの皆様が、

最後の力を振り絞り悔いの残らぬ年祭活動を歩んで頂くべく、その旗振り役として、布教実動の推進、教理の習得、更には各教会の内容の充実と発展のうえにお役に立てるよう、行事を企画していく所存でございます。

何卒、本年もより多くの方々に布教部の行事へのご参加頂けますよう、ご協力ほどを心よりお願い申し上げます。

全教会布教推進月間

報告②

先月に掲載できませんでした布教推進月間の感想を掲載させていただきます。

◎布教推進月間を通しての感想と今後の教会布教活動についての目標を記入してください。

・全教会布教推進月間のお打ち出しをいただき、兵庫中央としては、毎日（十八日以外）を布教日と定め、毎日誰か一人は教会からにをいかけに出ようと言いかせ活動させて頂きました。ちょうど長男昇生も八月末から大鳥大教会にて実践課程の布教

実習が始まり、戸別訪問を中心に二週間布教に歩いてくれました。また、月次祭りの講話にて九月が布教協調月間であるという点とにをいかけに意義についてお話をさせて頂きましたところ、二人の信者さんが自主的にリーフレットをお持ち帰り下さり、初めてにをいかけの一步を踏み出して下さいました。これは、教会にとって何よりも有難い事で、おちばの声をいただいたお陰であります。

・まず、自身（会長）が行い、布教活動を行うよう促す前に教会の中身、雰囲気の内、外へのをいかけに繋げたい。

・年祭活動において、ようぶく一人一人の成人をと諭達にもお示し頂いておりますが、布教実動に動いたのは、教会在住所のみで、ようぶくの方々に動いて頂く事が出来なかった事が反省点です。又、年祭活動も残り一年余りになり、今後も充実した布教をできるよう心がけたい。

・にほいがけ月間はいつもより、よく歩かせて頂きましたが、今後また歩かせて頂きたいで

す。暑い日もありましたが、教祖とご一緒させて頂けてありがたかったです。

・ポスティングは、いつも教会家族で町内および周辺に一五〇枚配布しているが今回は思い切って用木信者さんにも思い切って声をかけ実施してもらった。ただ、ポストに入れるのではなく、このリーフレットに目を通してもらい御守護がありますようにと願って入れるようにしてほしい事を伝えた、暑かったけど良い汗を流せて気持ち良かった。声をかけてもらわないとできないから又、声をかけてほしいと言われた。毎回コツコツと少数でもよいから続けさせて頂こうと改めて思った。

・一〇月祭典後に久しぶりに神名流しをさせて頂きました。拍子木の音を聞いて家から出てきてくれる方、声をかけてくれる方、一緒についてきてくれる方がおられました。単独布教中には毎日、神名流しをさせて頂いていたので、毎日コツコツとさせて頂く事の大切さを改めて感じさせて頂きました。

教祖140年祭 年祭活動仕上げの年 『大教会毎月団参』

教祖140年祭活動仕上げの年にあたり、「度重なるおちばがえりを」(表統領先生)とのおちばからの声を受け、宇仁大教会では下記の日程で『毎月団参』を提唱させて頂きます。

つきましては、できる限りこの日に合わせてまとまって参拝して頂けたらと存じます。

基本、当日は担当役員が芯となって、11時30分に東礼拝場で本部お願いづとめに参拝させて頂き、おつとめ後は教祖殿、祖霊殿をまわります(一月を除く)。

また昼食をはさみ、午後からは伏せ込み行事を行います(参加は自由)。行事内容については、その都度担当役員が計画いたします。

一人でも多くのご参加をお願いいたします。

日 程

- 1月 5日～7日 お節会
- 2月16日(第3日曜日)
- 3月 9日(第2日曜日) 別席強調おちばがえり
- 4月27日(第4日曜日) 別席強調おちばがえり
- 5月11日(第2日曜日)
- 6月22日(第4日曜日)
- 7月13日(第2日曜日)
- 8月17日(第3日曜日)
- 9月14日(第2日曜日)
- 10月19日(第3日曜日)
- 11月 9日(第2日曜日) 一斉団参(おかえり講話)
- 12月21日(第3日曜日)

一理塚

私は心配性である。

出かけるたびに「鍵はかけた
だろうか」「ストーブは消した
だろうか」と心配する。

また、人と話をするとき「嫌な
奴と思われてないか」「悪くと
られてないか」と心配する。

まあ誰でも、多かれ少なかれ
そのぐらいのことはあるだろう
と思う。

でも考えてみると、私が心配
しているのは、我が身や我が家
の事ばかりである。人様の事や
世界の事を一つも心配していな
いことにふと気づいた。

これは、会長として一ようば
くとして失格である。出かける
たびに世界の事を気にかけ、人
と会うたびに相手の事を心配す
るようであれば、恥ずかしく
て布教師などと言えたものでは
ない。

教祖は申すまでもなく、先人
先輩方は、我が身我が家の事は
放っておいて、先ずは人だすけ
に歩まれた。今さらながら申し

訳ない限りである。

ところで「心配」という言葉

はおふでさきやおさしづにも時々
出てくる。例えばおふでさきに、

「いままでハやまいとゆえばい
しやくするり みなしんばいを
したるなれども」(六号一〇五)

「けふまでハどんな事でもにち
にちに しんばいしたる事であ
れども」(二四号四一)

とある。これらは人間側の「心
配」であるが、一方で、

「こらほどの月日の心しんばい
を せかいどうハなんとをもて
る」(六号一一七)

「月日よりそのみちはやくしら
そふと をもてしんばいしてい
るところ」(七号八)

と、これは月日親神様側からの
「心配」である。

同じ「心配」でも、人間のそ
れは「我が身我が家の事」の「心配」

で、神様のそれは「人間」が可
愛いゆえの「心配」である。つ
まり、一方は「人間思案」であ
るのに対して、もう一方は「親
心」である。

この違いは大きい。

大抵の場合、おさしづにして

も、人間の「心配」は「要らん
もの」として出てくる。

もう一つよく似た言葉で「心
配り」というのがある。こちら
の方は、親神様も奨励されてい
るようで、「心を配れ」と出て
くる。以前の諭達にも「おたす
けは周囲に心を配ることから始
まる」と仰せ頂いた。「心配り」
はおたすけの第一歩ということ
である。

私たちが人間は、「心配」は要
らないが、「心配り」は必要な
のである。どこが違うのかと言
えば、「理(り)」があるかどう
かの違いと言えよう。

「心配」は我が身我が家の事
だが、「心配り」はひと様相手
の事と、教祖は使い分けておら
れるのだと思う。

ところが、一つだけおさしづ
に「心配せい」というのがある。
これは明治三十八年のおさしづ
で、「皆々心配せい心配せい。
心配は楽しみの種、一粒万倍と
いう」とある。

明治三十八年といえば、教祖
二十年祭の前年である。本部の
主だった先生方が、年祭につい

て「ああしようか、こうしよ
うか」と種々協議をしている最中
に降りてきたおさしづというこ
とである。教祖にとって、神の
御用についての心配は大いに結
構で、「心配は楽しみの種、一
粒万倍」とまで言われるのであ
る。

年が明け、奇しくも今年は教
祖年祭の前年である。

年祭活動残り三分の一、私自
身、自分の事だけを心配するの
ではなく、相手の事、世界の事、
神様の御用の事を心配し、心配
りが出来るようつとめさせて頂
きたいと思う。

敬祖と共に歩む三年千日

大教会布教実動日

『教祖のお供に歩かせて頂く日』

毎月十五日 午後一時三十分 大教会集合

戸別訪問・振り回り

午後三時三十分 解散

『親神様の神名を世界へ流す日』

毎月二十四日 午後一時三十分

神名流し

午後二時 終了 宇仁大教会

立教百八十八年

神殿講話(予定)

- 一月 大教会長様
- 二月 寺尾真木夫(豊原)
- 三月 田尻圭右(神福)
- 四月 古西悟司(和道)
- 五月 学生層育成者講習会
- 六月 笹倉雅浩(兵庫中央)
- 七月 原田信一(小野町)
- 八月 布教推進講話
- 九月 田中啓司郎(中河合)
- 十月 世話人先生
- 十一月 志水正広(屋神)
- 十二月 笹倉和史(國延)

初おぢばがえり

只今教祖一四〇年祭へ向かう三年千日の歩みの中、毎月一日十三時半から宇仁大教会を拠点に、にをいがけに歩かせて頂いています。毎月のように参加されている泉東仁分教会の片岡照美さんが十一月十五日 戸別訪問に歩く中である女性とお出会いさせて頂きました。お声掛けさせてもらうと『昔、天理へ行ったことがあるけど、とって

も楽しかったからまた行ってみたい』と話され、さっそくその月の十一月二十六日に泉東仁の会長さんと一緒におぢばへお連れさせて頂きました。しかも、初めておぢばへ帰られるというお友達を誘ってくれたの帰参！二年が経つこの活動の中で、初めて二名おぢば帰りされる方をお与え頂くことができ、本当にありがたいです。そして、コッコツと歩ませて頂くことの大切さを改めて感じさせて頂きました。年祭活動もあと残り一年！どうぞ、みなさんも親の理を頂戴させて頂き、教祖と共に歩ませて頂きましょう！

おぢば通信

十一月のうごき

◎初席者

福重 田尻真太郎
鍛冶屋 川井 美佳

豊原 平田美津子
久樹 津田美由紀
山田 千華
浅野 俊道
森本恵美子

◎をびや許し

杉原谷 今中佳央里

◎十一月帰参者 三二六名

(詰所調べ)

1月行事予定表

- 1日 元旦祭
 - 5〜7日 お節会
 - 9日 婦人会初例会
 - 15日 布教実働日
 - 19日 少年会初例会
 - 24日 大教会春季大祭
午前10時30分執行
 - 26日 本部春季大祭
午前11時30分執行
- 神名流し

編集部より

新年あけましておめでとうございます。昨年の一月から宇仁会報の担当を務めさせて頂いてからはや一年が経ちました。昨年は会報を作り上げるだけで精一杯の一年になってしまいましたが。

至らない点が多々あるかと思いますが本年も皆様のご協力を賜りながら務めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。

(宇仁会報担当 畑中)

婦人会より

◇大教会炊事当番

- 1月 神福A
 - 2月 直属
 - 3月 神福B
- よろしく

お願いします